

(お知らせ)

### 柏崎刈羽原子力発電所 3・4号機における定期安全レビューの実施について

2024年8月8日

東京電力ホールディングス株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

当所3号機（沸騰水型軽水炉、定格電気出力110万キロワット、1993年運転開始）および当所4号機（沸騰水型軽水炉、定格電気出力110万キロワット、1994年運転開始）は「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」に基づき、定期安全レビューを実施しております。

定期安全レビューとは、「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」に基づき、10年を超えない期間において原子炉設置者が、原子炉ごとに「原子炉施設における保安活動の実施状況」および「原子炉施設に対して実施した保安活動への最新の技術的知見の反映状況」を定期的に評価する活動です。

この度、第3回目の評価結果を取りまとめましたので、お知らせいたします。

今回実施した定期安全レビューは、2016年3月にお知らせした以来の3回目の評価であり、2014年4月1日から2023年3月31日までを対象期間として評価を行い、保安活動が継続的に改善され、安全性の維持・向上が適切に図られていることを確認しました。

本評価結果を踏まえ、今後も現状の保安活動を実施・改善していくことにより、発電所の安全性・信頼性の向上に努めてまいります。

以上

別紙：「柏崎刈羽原子力発電所3・4号機定期安全レビュー（第3回）報告書の要旨」